

用語解説

精密医療(プレジジョン・メディシン)

遺伝子、環境、ライフスタイルに関する個人の違いを考慮して、予防や治療法を確立する医療。患者さんの遺伝子を分析し、個々の病状に合ったより精密な治療法を選択することで、効果の期待できない薬剤を使用せずすみ、副作用などのリスクを回避できるメリットがある。

長期収載品

特許期間が過ぎており、ジェネリック医薬品が発売されている先発医薬品のこと。

デジタルメディスン

センサーなどの医療機器と薬剤が組み合わさったもの。錠剤にセンサーを組み込んで、服薬状況や活動量をモニタリングする薬剤が実用化されている。

バイオ医薬品

ワクチン、血漿分画製剤といったタンパク医薬や、抗体医薬、核酸医薬、再生医療用細胞など、生体由来成分または生物機能を利用した医薬品の総称。

バイオシミラー

バイオ医薬品のジェネリック。バイオ後続品。

ペイシェントジャーニー

患者さんが病気を告知されたときから治療期間、完治または終末期までの「行動」、「思考」、「感情」などのプロセスを旅に例えて表したものの。医療提供側がペイシェントジャーニーを理解して、必要な情報・施策を提供することで、患者さんの選択や決定を円滑にすることができる。

モダリティ

低分子化合物、ペプチド薬、抗体医薬を含むタンパク医薬、遺伝子治療、核酸医薬、細胞医薬、再生医療といった治療手段。

MR(Medical Representative : 医薬情報担当者)

製薬会社の営業担当者として医療機関を訪問し、医薬品の適正使用のために、医薬品の品質・有効性・安全性などに関する情報の収集と提供を行う。

QOL(Quality of Life)

医療の場において、治療効果を優先させるだけでなく、治療後も患者さんが「生活の質」を下げることなく、充実感や満足感を持って日常生活を送ることができているかを尺度としてとらえる概念。

RPA(Robotic Process Automation)

入力作業など定型のデスクワークを、ソフトウェア(ロボット)によって代行させ、自動化すること。